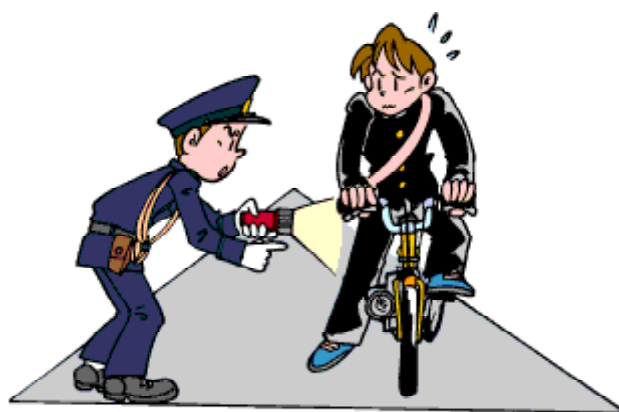


全校での取組



交通安全教育報告書

取組名	自転車整備点検	分類	全校での取組
取組の特徴	生徒に自分の自転車を10m程走行させ、ライト点灯とブレーキの効き具合をチェックする		
学校名	大分県立高田高等学校		

取組の概要

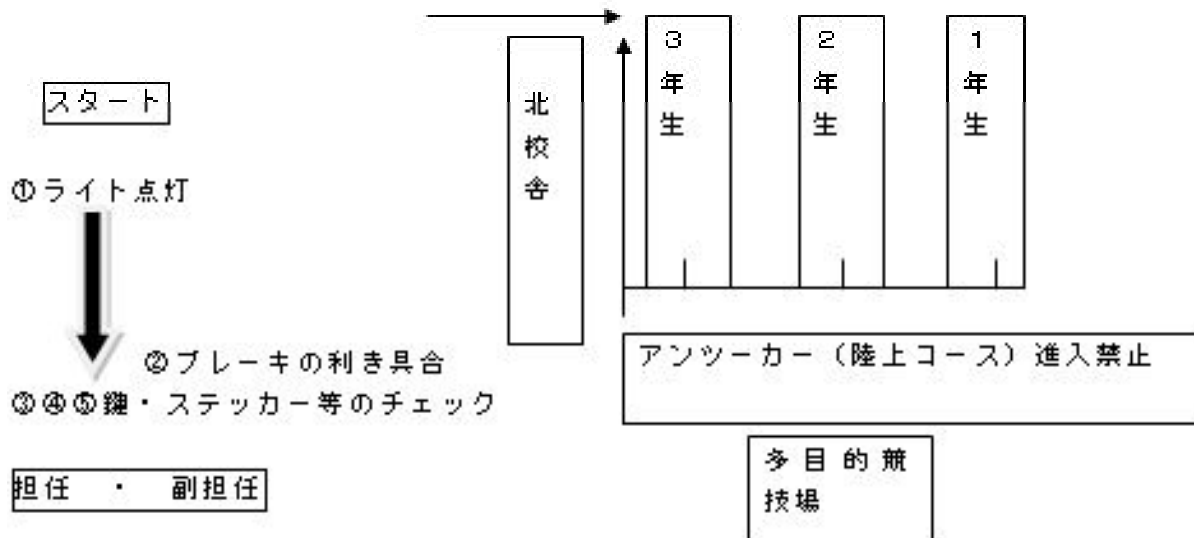
目的： 自転車通学生の安全指導の一環として、自転車の整備点検を実施する。生徒の登下校時の安全運転に対する意識付けを、自転車の整備の点からも徹底したい。

日時： 平成25年4月18日（木） 終礼後
 （予備日）平成25年4月23日（火） 終礼後

場所： グラウンド

- 指導項目：
- ① ライト点灯
 - ② ブレーキ
 - ③ 鍵の有無
 - ④ 自転車のステッカーの有無
 - ⑤ 改造の有無

検査手順： 担任、副担任で実施。（一人でもかまいません。できれば2人で。）
 所定の位置より10mほど走行する。その際、ライトの点灯とブレーキの効き具合を見る。一人当たりの所要時間は30秒。検査終了後、各自放課。整備不良、およびステッカーのない者は一週間後、担任にて再検査。再々検査は生徒指導部で対応し、合格するまで指導を続ける。検査用紙は再々検査後、指導部に提出する。



交通安全教育報告書

取組名	交通安全H R A	分類	全校での取組
取組の特徴	全学年全クラスで、交通ルール、登校経路に関する確認プリントを用いた質問形式のH R A授業		
学校名	大分県立大分舞鶴高等学校		

取組の概要

1 目的

1学期に交通講話を実施したが、それ以後も本校自転車通学生の交通事故が多発している。運転技術の未熟、危険予測し回避する力の不足、心の焦り等が起因していると考えられる。

こうした状況のもと、2学期は、交通ルールの再確認や各個人の通学路状況での再確認などを目的に、各クラスでH R A形式で、教職員も含めて、安全意識の再確認をし、生徒の交通ルール・マナーの遵守を図り、交通安全の意識をさらに高め、登下校を含めた日常生活全てにわたり、交通事故を起こさず、遭わない、心構えを醸成する。

2 対象 全学年生徒、各クラス担任・副担任

3 期日 平成25年 9月20日(金) 7限 2年全クラス
平成25年10月18日(金) 7限 1・3年全クラス

4 場所 各教室

5 内容 プレゼンテーションソフト利用、生徒B4プリント1枚(B5で4頁)

実施要領

プリントB4表裏1枚を配付し、自転車の交通安全について考えることを予告。

(1) 第1問と第2問を考えさせる。(各自で考えさせる)

※ 第2問の標識チェックは、パワーポイントで2頁を見せる。(カラー)
解説する(赤ペンで○付け、20点満点で採点させる)

※ 交差点の通行とベルについては、パワーポイントで3頁～8頁を使って解説
時間配分を考えて、口頭で説明してもよいです。

(2) 第3問を、通学路を思い出させながら、答えさせる。

個人個人の回答になるので注意する。(相談させてもよい)
(日頃、注意して通学できているのか、考えさせる材料とする)

(3) 第4問を考えさせる。

個人で考えさせる。各個人ごとの回答になるので注意する。
解説する。特に、Q1の「自転車が歩道を走行する場合、気を付けなければならないルール」と、Q3の加害者になった場合の件等補足する。

(4) 今回のLHRを終わっての感想と各自の交通安全宣言を書かせる。

※ 交通安全宣言と感想は必ず書かせること。

(5) まとめ 回収。出来てなければ、本日中に提出させる。

回収後、クラスごとに、「交通安全宣言」を入力する。

交通安全教育報告書

取組名	車体検査	分類	全校での取組
取組の特徴	通学に使用する交通機関の安全性を確認する		
学校名	大分県立大分工業高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1. 目的</p> <p>通学に使用する交通手段毎に、車体の安全性、合法性について点検をすることにより、安全意識の啓発をはかる。</p> <p>2. 方法</p> <p>通学する際、自転車、原付、普通二輪、四輪の通学の届けを出すようになっている。学期に1回、申請通りの交通機関を利用しているか、提出書類に基づき全校一斉に点検する。</p> <p>3. 効果</p> <p>高校生の年齢では、所有について、自賠責保険、任意保険および税金についての意識が低い生徒が少なくない。また家庭でそのことについてコントロールできない場合もある。学校として通学の許可を出す場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①交通安全に注意をすること ②違法な改造はしない ③任意保険に入る等の条件を付けている <p>それらが守られているか、ウィンカーやライト等保安装置が完動しているか、タイヤの減り具合、空気圧、ブレーキのきき具合等検査し、不合格項目があると修理または、修正させる。</p> <p>こうすることにより安全意識が高まり、交通安全に繋がっていく。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	交通事故防止	分類	全校での取組
取組の特徴	生徒自らが、今まで自分が遭遇した危険な体験を話し合う		
学校名	大分県立大分工業高等学校定時制		
取組の概要			
<p>1. 目的</p> <p>生徒自らが事故の体験を話し合うことにより、危険な事の情報共有することにより交通事故の減少を図る。</p> <p>2. 方法</p> <p>今まで①自分が被害者として、②自分が加害者として、③直接目撃したこと、④同乗という形で体験したことをアンケートに採り、状況別に整理する。その資料に基づき、所有する自転車、原付や四輪の交通免許ごとにグループ分けし、その体験を話し合う。</p> <p>3. 効果</p> <p>多くは3、4年生が経験の少ない1、2年生に対して彼らの体験を語るという状況になった。死亡事故があったばかりで、気持ちを風化させないよう、心の引き締めにつながった。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	通学用自転車の検査	分類	全校での取組
取組の特徴	各部（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）毎に車体検査を実施する		
学校名	大分県立爽風館高等学校		
取組の概要			
<p>1 日 時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月下旬の火曜日・水曜日・木曜日のラボの時間帯に実施 ・ 7月中旬の火曜日・水曜日・木曜日のラボの時間帯に実施 ・ 10月の4限（4時15分）終了後に数回実施 <p>2 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車体検査を実施することで、自転車通学の安全を図り、交通安全意識を高める <p>3 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月と7月は車体番号、ブレーキ、ライトなどの検査を各部2名の担当教員が自転車置き場で行い、不備があれば生徒に整備するように指導する。 ・ 10月は整備不良車やステッカー未貼付車に「警告書」を貼付する。 			

交通安全教育報告書

取組名	自転車マナー及び安全運転の意識向上に向けての活動	分類	全校での取組
取組の特徴	生徒指導部による呼びかけ、クラス掲示等による交通安全意識の高揚を図る		
学校名	岩田高等学校		
取組の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校集会時での交通安全指導、マナーアップ等の呼びかけ ・ 「守っていますか？自転車ルールと大切な命」のクラス掲示 ・ 「自転車安全利用五則」のクラス掲示 ・ 「自転車運転のために最低限知っておくべき道路標識」のクラス掲示 ・ 学期に1回の自転車点検の実施 <ul style="list-style-type: none"> * 「道路標識」の問題をテスト形式で答えさせ、合格者（生徒の交通ルール認識を確認して）から点検を実施。 ・ 全国交通安全運動期間中（春・秋）の登下校指導 			

交通安全教育報告書

取組名	自転車点検	分類	全校での取組
取組の特徴	指導部及びP T Aによる自転車車体点検及び整備依頼		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 日時 平成25年6月28日(金)午前中 生徒指導部5名 P T A保護者25名 5班に分けて各駐輪場にて実施</p> <p>2 ねらい 自転車の安全走行を実現するために、ブレーキ・ライト・空気圧・の点検。及び盗難防止に対するツーロックの確認を行う。</p> <p>3 活動内容 登校後に各指定駐輪場に駐輪の後施錠を解除させる。指導部とP T Aが5班に分かれて点検活動を行った。点検項目はブレーキ・ライト・空気圧。併せてツーロックを日々しているかの調査を実施した。全自転車にハンドル部分に点検カードを取り付けさせ項目をチェックし良好車には点検カードを回収し不良車には点検カードをそのまま取り付け不良箇所をチェックし不良箇所を確認させた。不良車両についてはすぐに最寄りの自転車屋で整備するように指導し、全校生徒の保護者に対して点検結果の報告及び通学自転車に限らず家庭にある自転車の整備点検をお願いする文書を配布した。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	大分県交通安全県民運動参加	分類	全校での取組
取組の特徴	教職員・P T A・交通安全委員による交通安全啓発活動		
学校名	大分高等学校		
取組の概要			
<p>1 運動名称・日時 春の全国交通安全運動（4月6日(土)～4月15日(月)） 4月11日・15日 AM7：40～8：15 おおいた夏の事故ゼロ運動（7月16日(火)～7月25日(木)） 7月16日・19日 AM7：40～8：15 秋の全国交通安全運動（9月21日(土)～30日(月)） 9月24日・30日 AM7：40～8：15 おおいた年末・年始の事故ゼロ運動（12月16日～1月5日） 1月16日{予定} AM7：40～8：15</p> <p>2 ねらい 自転車左側一列走行を徹底させ、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより交通事故を防止することを目的とする。</p> <p>3 活動内容 正門・トキハインダストリー高尾店交差点・明野中学グラウンド裏交差点・高尾山公園内の4ヶ所で交通安全運動を実施している。正門では、交通安全啓発ののぼり・横断幕を掲げ、1年生の交通安全委員及びP T Aの方々、1学年教員で実施している。 その他の箇所は、2・3学年指導部で振り分け、交通指導に当たっている。交通安全運動と並行して自転車ステッカー点検等を行っている。</p> <p>4 効果 交通安全に対する意識が高揚した。又、交通違反に対しての校内罰則規定を多く設けたことにより外部からの苦情等が減少した。</p>			

交通安全教育報告書

取組名	稲葉学園竹田南高等学校交通安全教育	分類	全校での取組
取組の特徴	学園(高校、幼稚園)全体での交通安全意識の高揚と交通安全の啓蒙		
学校名	稲葉学園竹田南高等学校		

取組の概要

○交通安全運動の期間中に、街頭指導を行う。

内容：交通安全運動の期間中、2回に分かれて早朝7：45～8：15（30分間）街頭での啓発活動をする。プラカードやタスキ、幟を持って呼びかける。また、防犯パトロックスのベストを着用して、防犯の意識も向上させる。

場所：竹田郵便局前

日程：春の交通安全運動（4／8職員4名、4／15職員3名、生徒23名）

夏の事故ゼロ運動（7／16職員3名、生徒27名、7／25職員3名）

秋の交通安全運動（9／24職員6名、生徒29名、9／27職員3名）

竹田市交通死亡事故多発非常事態宣言緊急街頭指導

（11／14職員10名、生徒21名、11／20職員9名、生徒21名）

年末年始事故ゼロ運動（12／16職員3名、生徒30名）

